

# 成績および進級・卒業発表について

## 1. 成績評価

- 単位の修得は期末および学年末の試験の結果によりますが、授業科目によっては教室における授業時間中の筆記試験、レポートの提出、平素の学習状況、または面接試験等により、総合的に考慮して判定することがあります。
- 外国語科目や実技、実験をとまなう授業科目、演習科目の単位の修得は、一般に授業への出席がより重視されます。
- 成績評価 (LG:Letter Grade) について  
2019年度 (2019年4月) から、従来よりきめ細かく評価する新しい成績評価基準を導入します。成績評価 (LG) は、11段階制 (S、A+、A、A-、B+、B、B-、C+、C、C-、D) です。各 LG 内で特に留意すべき加点・減点がある場合、+-を付加します。ただし、S と D に関しては+-を使用しません。合格点は60点以上です。

素点評価する場合	素点評価しない場合	評価	GP	合否
100～90点	学習目標を満たし卓越した成績をあげた	S	4.0	合格
89～87点		A+	3.3	
86～83点		A	3.0	
82～80点		A-	2.7	
79～77点	おおむね学習目標を満たしている	B+	2.3	
76～73点		B	2.0	
72～70点		B-	1.7	
69～67点	最低限の学習目標を満たしたが不十分な点も見られる	C+	1.3	
66～63点		C	1.0	
62～60点		C-	0.7	
59～0点	学習目標を満たしていない	D	0.0	不合格
未受験、採点不能	未受験、採点不能	E		

- 移行時期の措置について
  - 2018年度以前に取得した単位の評価・GPは変更しません。
  - 成績証明書等には、2018年度以前と2019年度以降の成績評価基準が異なることを明示します。また累積GPAは、新旧基準によるGPAの累積値を記載します。
  - 現在「S」記号を使用している留学による外国大学の修得単位認定は、2019年度より「RS」に変更します。

## 2. GPA制度

全学部の科目においてGPA(Grade Point Average)制度が導入されています。詳しくは、市ヶ谷共通項目を参照してください。

## 3. 成績発表

- 成績は、「成績通知書」によって発表します。
- 成績発表は、9月中旬 (春学期科目) と3月上旬 (秋学期科目・通年科目) に行います。日時についての詳細は掲示します。
- 成績通知書は、新年度の履修科目の選択・登録の資料となりますので、保管して参考にしてください。

### 成績評価調査

登録した科目を受験し、また、レポート提出等の定められた義務を果たしているにもかかわらず、その評価がDまたはEとなっている場合に限り、所定の期間内 (成績発表時に掲示) に申し出れば調査を行います。

ただし期間外の申出及び、A+～C-の評価については理由の如何を問わず、学部事務での調査は一切行いません。

※単に点数を知りたい、などの問い合わせは受け付けません。

## 4. 進級および卒業発表

- (1) 発表は3月上旬頃に成績通知書の公開により行います。
- (2) 必ず本人が進級または卒業の可否を通知書により確認してください。
- (3) 再試験該当者(3・4年次生)は直ちに経営学部窓口で本人が手続きを行ってください。
- (4) 卒業が決定した者は学位授与式に出席し、学生証と引き換えに学位記を受け取ってください。
- (5) 9月卒業が決定した者は9月の学位記交付式に出席し、学生証と引き換えに学位記を受け取ってください。

注：キャリア就職システムへ進路報告をしていない場合、4年次秋学期の成績および卒業の確認(成績通知書の出力)ができません。詳細はキャリアセンターへ問い合わせてください。

## 早期卒業について

経営学部では、2016年度以降の入学者から、一定の要件を満たした成績優秀な学生に対し、3年次末で卒業を認める早期卒業制度の運用を始めます。本制度を利用すれば、より早期につぎのキャリアを始められる、4年次の授業料負担がなくなるなどのメリットがあります。一方、現状では就職や進学に関するさまざまな仕組みが4年次末の卒業を前提にしていることが多く、3年次末で卒業する場合は、それによって不利益が生じることはないよう、自分のキャリアをしっかりと見定めておくことも必要となります。

以下に、早期卒業に必要な要件や手続きを説明します。希望する学生は、事前に経営学部窓口で相談するよう勧めます。

### 1. 事前申請

早期卒業が認められるのは、本学経営学部で3年以上在学し、卒業の要件として経営学部が定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者です。ただし、再入学(復学・復籍)、転・編入学及び転籍した学生は、早期卒業の対象とはなりません。

早期卒業を希望する学生は、まず、入学後5セメスター目(3年次春学期)の下記期間に、経営学部長宛に所定の申請書(経営学部窓口で入手できます)を提出する必要があります。事前申請の期間は、6月1日～6月20日(土日の場合は翌月曜日)です。また、申請書の提出は窓口への直接持参(または簡易書留による送付・申請期限最終日必着)とします。

経営学部教授会は、申請書の提出者に対して面談を行うとともに、5セメスター終了までの成績を踏まえて、9月の教授会で、「成績優秀の適格認定」を行うか否かを決定します。

### 2. 早期卒業時の要件

上記1.の事前申請において「成績優秀の適格認定」を受けた者のうち、3年次末の時点で以下の要件をすべて満たしている場合、経営学部教授会の議を経て早期卒業者を決定します。

- (1) 卒業所要単位を修得していること。
- (2) 卒業所要単位のうち、9割以上がA評価以上であること。
- (3) 入学時から3年次終了までの通算したGPA(累積GPA)が3.0以上であること。

卒業所要単位は132単位。卒業所要単位のうち9割以上とは、119単位以上。上の(2)の「A評価以上」には「R評価(2018年度以前)」、「RR評価(2019年度以降)」、「S評価(2018年度以前)」、「RS評価(2019年度以降)」及び「P評価」は含まれません。また、(1)～(3)の「卒業所要単位」やGPAの算出には教職・資格科目は含まれません。

※早期卒業の要件を充たさなかった場合は、卒業所要単位を修得していても、3年次終了での卒業を認めず、4年次1年間の在学と最低8単位以上の修得が必要となります。